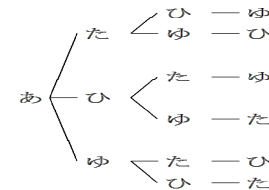


大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1	(1)	①	技能			20	5
	(2)	②	技能			2	5
	(3)	③	技能			$-12x+8$	5
	(4)	④	技能			12	5
2	(1)	⑤	考え	<ul style="list-style-type: none"> 1個 x 円のなし3個と1個 y 円のかき5個の代金の合計は、2000円以下である(足りる)。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 1個 x 円のなし3個と1個 y 円のかき5個の代金の合計は2000円より安い(少ない)。 1個 x 円のなし3個と1個 y 円のかき5個の代金の合計は2000円未満である。 	5
				○ 右に示した解答例で、1個 x 円と1個 y 円の記述がないが、なし3個とかき5個の代金の合計について正しく書いている。	4		
	(2)	⑥	知識	○ ウ、エの1つとその他の誤答を1つ選んでいる。	2	○ ウ、エ(完答)	5
				○ ウ、エの1つだけ選んでいる。	3		
	(3)	⑦	技能			240 cm^3	5
	(4)	⑧	技能	<ul style="list-style-type: none"> 線対称な点㉔, ㉕, ㉖の3つの点のみ正しくとっている。(直線をひいていない。) 線対称な点㉔, ㉕, ㉖のうち2つの点を正しくとり、図形をかいている。 	2	<p>※ 直線は、定規を使ってひいていなくてもよい。</p>	5
	(5)	⑨	技能			(1, -3), (-1, 3) 等	5
	(6)	⑩	知識			ウ	5
3	(1)	⑪	関心	<ul style="list-style-type: none"> あきらさん→ひろこさん→たかしさん→ゆうこさん あきらさん→ゆうこさん→ひろこさん→たかしさん のどちらか1つを書いている。 	3	<ul style="list-style-type: none"> あきらさん→ひろこさん→たかしさん→ゆうこさん あきらさん→ゆうこさん→ひろこさん→たかしさん の2つを書いている。 	5
				<ul style="list-style-type: none"> 誤答1つにつき1点減点。 2つ正答と1つの誤答 (5点) - (1点) = (4点) 1つの正答と1つの誤答 (3点) - (1点) = (2点) 	1点 4点	※ あきらさんを㉔, ひろこさんを㉕と表すなど、記号化して書いていても可とする。	

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
3	(2)	12	考え	<p>○ 「24通り」だけ書いている。</p>	2	<p>○ 「24通り」と書き、【図】と【言葉】を使って正しく説明している。</p> <p>・ 樹形図をかいて、説明している。 (例) 【樹形図】</p> 	5
				<p>○ 【言葉による説明】は正しく書いているが、【図】が正しくかかれていなかったり、数え間違いをしたりしていて、24通りと書いていない。 (例) あきらさんが第1走者の場合は、5通りある。4人が第1走者になるから全部で5×4で20通りである。</p>	2		
10点				<p>○ 式だけを書いて「24通り」を求めている。 (例) 6×4=24 だから24通りである。</p>	3	<p>【言葉による説明】 あきらさんが第1走者の場合は、6通りある。4人が第1走者になるから6×4を計算して、全部で24通りである。</p> <p>・ 正しく組み合わせた図を使って、説明している。 (例) 【正しく組み合わせた図】 (あ, た, ひ, ゆ) (あ, た, ゆ, ひ) (あ, ひ, た, ゆ) (あ, ひ, ゆ, た) (あ, ゆ, た, ひ) (あ, ゆ, ひ, た) 【言葉による説明】 あきらさんが第1走者の場合は、6通りある。4人が第1走者になるから6×4を計算して、全部で24通りである。</p>	
				<p>○ 「樹形図」という言葉を書いている。 (例) 樹形図を使って求めると24通りである。</p>	4		
4	(1)	13	技能			25本	5
10点	(2)	14	考え	<p>○ ①②③のそれぞれについて、部分点を与えること。</p>		<p>○ ①②③をすべて説明している。 (解答例) ※同意可</p> <p>①上の辺のまとまりのマッチ棒の本数は、すべての正方形の上の辺を囲んでいるので、n本である。上下2つのまとまりがあるのでマッチ棒が2n本必要になる。</p> <p>②また、縦の辺の本数は、正方形1個で2本、2個で3本となるから、正方形n個で(n+1)本になっている。</p> <p>③マッチ棒全部の本数は、2n本と(n+1)本を合わせればよい。</p>	5
				<p>①すべての正方形の上下の辺のまとまりが、2n本であることを説明している。 ※解答例参照</p>	2		
				<p>②縦の辺の本数が、(n+1)本であることを、具体例をあげて説明している。 ※解答例参照</p>	2		
				<p>③マッチ棒の総数は、上下の辺と縦の辺の和で表されることを説明している。 ※解答例参照</p>	1		
<p>【授業改善の視点】</p> <p>事象を数学的に考察できるようにするために、囲み方にあったマッチ棒の本数を式に表すとともに、式から囲み方を見いだす活動を取り入れる。</p>							

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
5 15 点	(1)	15	知識	○ アとイのどちらか一方だけ正しく書いている。	2	○ アとイをどちらも正しく書いている。 ア 比例 イ $\frac{45}{4}$ ($\frac{450}{40}$ でも可) または 11.25	5
	(2)	16	考え	○ ①から③のいずれかを書いている。	2	○ ①②③をすべて書いている。	5
				① $y = \frac{45}{4}x$ に $x = 320$ を代入すること。		① $y = \frac{45}{4}x$ に $x = 320$ を代入すると	
				② $y = 3600$ になることを求めていること。		② $y = \frac{45}{4} \times 320 = 3600$	
		③ 320人分の資料の重さが3600g (3.6kg) になることを書いていること。	1	③だから、320人分の資料の重さは3600g (3.6kg) になる。 ※ 同意可			
(3)	17	関心	○ 問題1 だけ正しく答えている。 ----- ○ 問題2 だけ正しく答えている。 ※必要な単位がない場合は、1点減点する。	2 3	○ 問題1 と問題2 のどちらも正しく答えている。 問題1 エ 問題2 「 y は x の関数である」ものを言葉と x , y の文字を使って1つ答えている。 (例) 面積が6cm ² の長方形で、縦の長さが x cmのときの横の長さ y cm ※ x , y が連続量でないもの等も可とする。 ※必要な単位がない場合は、1点減点する。	5	
【授業改善の視点】 関数についての学習の初期段階においては、比例と反比例だけが関数であるような誤解に陥らないように、日常生活の中の関数関係にある事象を考える活動を位置付ける。							
6 15 点	(1)	18	知識			イ	5
	(2)	19	考え			$5x + 6 = 7x - 4$	5
	(3)	20	考え			○ a イ , b オ または a オ , b イ	5
【授業改善の視点】 方程式の解の意味を理解するために、様々な数を方程式に代入するなどして、解を求める活動を位置付ける。							